平成３０年度　学校教育目標と学校経営方針

北海道上士幌高等学校
平成３０年４月６日

【学校教育目標】

1　持続可能な社会づくりをめざし、知識を深め、自ら課題解決する能力と創造力を養う。
2　心身の調和を図り、健全な人格の形成に努める。
3　適性を重視した進路目標を確立し、その実現に努める。

【重点目標】

1　**多様性を尊重する態度と互いのよさを生かして協働する力を育てる。**
2　すべての教育活動を通して、生徒の自律性の伸長を図る。
3　進路目標が達成できるよう、継続的に努力する態度を養う。

【基本的な考え方】

1　**自己の感情や行動を統制する力や、よりよい生活や人間関係を自主的に形成する態度を育む学校**
2　**リーダーシップやチームワーク、感性、優しさや思いやりを育てる学校**
3　夢に向かって、具体的な目標を持ち、一生懸命頑張れる学校

①本校を志望する生徒が、自分の個性と学校の個性がフィットしていることを十分理解した上で本校に入学できるように、学校理解を促進させる。
②誰もが安心して学習できる環境つくりに努め、他人のチャレンジを妨げないで、自らの学校生活に積極的に取り組む生徒の入学を期待する。

【経　営　方　針】

(1) **生徒個々の能力と才能を伸ばし**、学ぶ意欲と確かな学力の向上を図る。
(2) 教職員の協働意識を高め、組織連携による指導体制の充実を図る。
(3) 当面の課題への対応と将来ビジョンを持って教育指導に当たる。
(4) 地域との行動連携により、開かれた学校づくりを進める。

【年度の重点経営方針】・・・　「共生と協働」を目指して

(1) 教職員の意識改革と資質向上

○協働体制を確立する（学年と各分掌との縦横の連携強化、校内支援体制の充実）。
○授業を大切にし、学ぶ喜びと自信を身につけさせる（授業評価・改善、評価問題(定期考査・小テスト)の工夫・改善、観点別評価、習熟度、少人数、TT、アクティブラーニング等）。
○**「発達障がい支援成果普及事業」校内研修**に取り組む。
○チーム学校の組織体制を確立する中、業務・学校行事の精選・分担の明確化・効率化等の工夫を推進及び相互支援し、業務の平準化に努め、教職員の時間外勤務を確実に縮減する。
○新１年生に係る高大接続関連について着実に準備をする。

(2) 「地域と一体となった学校づくり」　（学校評議員会）

○規範意識・コミュニケーション能力を育てる（キャリア教育、総合的な学習の時間、人間関係づくり、第三者の教育力の活用等）。
○いじめのない仲間づくりと命を大切にする心を育てる（すべての教育活動を通して）。
○ふるさとに誇りを持ち、ふるさとを愛し、その上で社会に貢献できる人材を育てる（上士幌学、ユネスコスクール等）。